



かけ橋プログラム だより



このお便りは、横浜市の「かけ橋プログラム」の一環として発行しています。
かけ橋期の保育・教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

幼保小連携推進地区 帷子地区の取組

幼保小で語ろう「日頃の保育・教育で大切にしていること」

帷子地区（帷子小学校、スカイハイツ幼稚園、横浜市天王町保育園）では、夏休み終わりに、幼稚園、保育園で実践している保育・教育について、日ごろどんなことを大切にし、どんなことをポイントに実践を行っているか、5歳児担任が報告をしました。園からの話題提供をもとに、小学校の職員の視点を交えて意見交換をしました。



～スカイハイツ幼稚園～
ひらがなって難しい…でも遊びの中にもあってちょっと気になってきた！
「ひらがな練習帳」の使用をやめたことにより、文字への興味関心が高まる環境作りや先生方の関わり方を工夫しました。

【小学校より】練習帳ではなく生活の中で出会い、もっと書きたいという気持ちをもって書く環境はよいと思いました。



～天王町保育園～
保育の中で大切にしていることは「子どもたち自身で考える、話し合うこと！

【小学校より】話合いの場面を生活の中で作っていく5歳児の子どもたちの成長を感じました。小学校でも、生活の中で話合いの場面を作りたいと思いました。

【小学校より】自分の考えを伝える、肯定的な言葉を使う、相手への使い方など丁寧に行っている。このような取組が資質・能力の基礎を養っていると思いました。

ますます！

どうやろうか？
どうしたい？



いつも担任から
いきかれてるワード?
〇〇さんと
チームは

天王町保育園は、ドキュメンテーションを毎日作成し、保護者用に掲示したり、保護者の話合いに利用したりしています。また、日報としての役割もあります。今回の研修資料も、ドキュメンテーションを基にしたものでした。ドキュメンテーションのおすすめの活用法です。

自分達で
考えられるよう
なって
欲しい！

3園校でのディスカッションは、大変盛り上がり、時間が足りないくらいでした。これからの帷子地区のつながりがより強まっていくように感じました。

